

●燦々と降り注ぐ太陽の煌めき、夏休みの思い出。

○公園の憩いのスポット中山台、真夏に映える百日紅の鮮やかさ

中山台は、公方公園の中心に位置し家族で楽しめるスポットです。富士見の丘からは、眼下に美しい景色が広がり、遊具広場では子供たちが元気に遊ぶ姿が見られ、夏には大ケヤキが木陰を提供し百日紅の花が楽しめます。丘に流れる小川は、冷たい地下水が流れています。子供達に大人気の場所として、夏場には涼を求める家族で賑わいます。また、休日になると芝生広場では、バーベキューをする人達の姿が見受けられます。道具や食材を持ち込んで仲間とのんびり過ごす、かけがえのない時間を提供する場所として、中山台は、市民に親しまれています。



① 中山台の百日紅

公方公園でのバーベキュー利用

公方公園ではバーベキューをすることが出来ます。場所は①中山台の芝生広場と、公園西側の大きな②芝生広場の2か所です。使用するには、当日、空き状況を確認して管理事務所で申し込みます。道具や食材は持ち込み、ゴミや灰などは持ち帰ることになっています。詳しくは下記まで問合せ 電話 0280-48-1129



○公園名所案内「天神橋と胞衣の松、氏女(うじひめ)のお話」

氏女は、最後の古河公方5代義氏の娘です。名家が途絶えるのを惜しむ豊臣秀吉の命により、同じ血筋の小弓公方(足利義明)の孫・国朝と結婚しましたが、すぐに国朝は病死、その後に国朝の弟・喜連川頼氏と再婚、嫡男・義親をもうけました。その義親が生まれたとき、氏女はその健やかな成長を祈願して、館に続く松かげに天神を祀り、胞衣(えな)かけの松を植えたといひます。平成元年に公園の基本計画の見直しが行われ橋が出来たときに、その橋は天神橋と名付けられ、ふもとに二本の松が植えられました。

※一部出典：中村良夫著 湿地転生の記より



③胞衣の松

○8月の花のご紹介 ④ノウゼンカズラ ⑤ミソハギ ⑥キョウチクトウ

④中国原産の落葉性のつる植物です。夏から秋にかけて、大きく美しいオレンジ色や赤色の花を咲かせます。⑤ミソハギ科の多年草で、夏に紫色の花を咲かせる。お盆の供花としても使われます。⑥キョウチクトウ科の常緑低木で、夏に紅色の花を咲かせます。有毒成分を含むため注意が必要です。



④ノウゼンカズラ ⑤ミソハギ ⑥キョウチクトウ

8月の昆虫【ナナフシモドキ】

ナナフシは、擬態がとっても上手、身近にいるナナフシは「ナナフシモドキ」か「エダナナフシ」のどちらか、見た目はそっくりですが、エダナナフシの触角は前脚と同じくらいに長く、ナナフシモドキはそれと比べると短いです。写真は、どろんこクラブの子どもたちが発見したナナフシモドキです。「ななふし」とはもともと「七節」、つまり木に多くの枝があることを意味し、その枝によく似ている(擬態している)ことから「七節もどき」という和名がついたそうですよ。



★ナナフシモドキ

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- ・Instagram @koga_kubou
- ・X (旧 Twitter) @kubou_park

インスタグラムアカウント



X (旧ツイッター) アカウント

